

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和 8 年 4 月 3 日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	宝和ホールディングス株式会社
所 在 地	〒721-0953 広島県福山市一文字町 18 番 6 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 藤本 俊
担 当 者 連 絡 先	電 話：084-954-4181
	メール：fkk@f3.dion.ne.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	howa-g.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は 2014 年に設立し、鉄鋼専門商社から流通・物流を総合的に支援する戦略的総合物流プロパイダーとして事業展開をしております。福山海陸運輸株式会社を 2020 年に M&A にてグループ化し、当社グループ会社（※）福山海陸運輸で福山港にて港湾運送事業及び内航海運業を営んでおります。
※宝和ホールディングスグループ会社 福山海陸運輸株式会社 宝和運輸株式会社 宝和鋼業株式会社 信濃不動産株式会社

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 ✓社会 □経済	社用車（乗用車）をガソリン車から HV 車に変更し、CO2 排出削減に取り組んでいる。	代替えや増車の場合も HV 車を導入予定（乗用車） 現在 82% 目標 100%
✓環境 ✓社会 □経済	福山港での清掃活動の実施を行い環境保全への取組を行っている。スポーツを通じて活気あふれるまちづくりに取り組んでいる。フードバンクへの寄付及びスマイル・バイ・ウォーターへの参加をしている。	清掃活動 現在 6 ヶ月に 1 回の清掃活動 目標 1 ヶ月に 1 回以上の清掃活動 福山シティ FC とのパートナー契約の継続。フードバンクへの寄付及びスマイル・バイ・ウォーターへの継続参加。
✓環境 □社会 ✓経済	紙媒体から電子媒体へ移行する事により従業員の作業効率の向上と環境保全の取組を行っている。	現在 紙媒体 5 割 目標 紙媒体 2 割

(様式第2号)

企業・団体名(宝和ホールディングス株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社員全員にハラスメントに対する教育を個別に行い、社内でハラスメント禁止の共有ができています。宝和ホールディングスに相談窓口を設置し、今後は外部の相談窓口設置も検討中。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	労働基準法等の長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	Gマークの認定を取得している。沿岸荷役作業主任者や運行管理者などの適切な人員の配置により安全に対してに取組を行っている。			3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	65歳以上の職員が2名在職しており、今後も超高齢化社会に対応できる労働環境への取組を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	船内荷役作業主任者や運行管理者などの資格取得の全額補助を行い、社員全員が資格を取りやすい環境を作っている。				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康保険委員を決め、従業員への健康投資に取り組んでいる。			3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	事業活動で発生した廃棄物処理は専門業者へ委託し、リサイクル可能な物はリサイクル業者へ出し3Rに取り組んでいる											11.6	12.4 12.5	13	14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	社用車を（普通乗用車をガソリン車からHV車へ変更）、HV車に変更し、CO2削減に取り組んでいる。現在82%目標100%							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	現在終業時刻を16:45としており、退社時間を通勤混雑時間帯を避ける事により温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	福山港の清掃活動を通して生態系に影響を及ぼさないよう活動を行っている。現在6ヶ月に1回、目標1ヶ月に1回以上、紙媒体から電子媒体へ移行する事により従業員の作業効率の向上と環境保全の取組を行っている。現在紙媒体8割、目標紙媒体2割						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	沿岸荷役作業主任者や運行管理者などの的確な配置によりサービスの安全性を確保するための仕組みを構築している。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	各製品ごとの取り扱いのマニュアルを作成し、品質管理に取り組んでいる。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	夜間作業を控え、地域へ配慮をしている				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	福山港での清掃活動の実施に取り組んでいる。スマイル・バイ・ウオーターに参加し、水の寄付。福山シティFCとゴールドパートナー契約を締結し、スポーツを通じて活気あふれるまちづくりに貢献。フードバンクへの寄付。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	経営幹部が指揮を取り、研修会を開催し、全職員でSDGsを理解し、目標を社内でも共有できるよう取組を行っている。								8	9								17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	外部研修会を全社員を対象に実施。就業規則に法令遵守を明記し、社内でも共有意識を持っている。																16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	担当者を決め、専門部署などの体制を整備している																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している									9		11		13				16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	15歳以上の若手社員の採用も就業規則に盛り込み、事業承継対策に取り組んでいる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

[illegible]